

竹本 官民の双方通行をより円滑にし、民間の皆さんが、役所に対してどんどん提案できる仕組みが必要です。かつては、大企業の活動の影響が住民に及び、それを行政が仲裁するといった図式でしたが、今では、行政が一方的に規制をすとかという単純構造ではなくなってきていますね。温暖化問題でも都市の大気汚染問題にしても自分が運転する車からの影響などの問題が顕在化してきています。すなわち、実際生活していること自体が環境に影響するんです。環境をよくしていくためには、役所だけではなくて、市民やNGOをはじめとする民間の活力をどれだけ活用できるか、役所と民間の連携が重要となってきています。

市長 バイオマスという言葉は、新しい言葉かもしれないけど、日本の農山村には、昔からもともとあった循環の発想です。山の柴や下草を刈って、それでお風呂を沸かし、釜戸で炊事をして、廃棄物はブタやニワトリに食べさせる、大きな循環がありました。その意味合いを現代の子どもたちにも理解してもらって、加

西の環境を考えようというのがこのバイオマスタウン構想です。その過程で加西のすばらしさを再発見しようという意識改革運動だと思っています。

竹本 大事なことですね。ご活躍を期待しています。私もお役に立てることがあれば、それこそパートナーシップで取り組みましょう。国も地方も、市民もそういう関係でやっていけたらいいですね。



2007年新春を迎えて

加西市長 中川 暢三

「改革マニフェスト」断行の年

新年、あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えることと、心からお慶び申し上げます。お陰様で、市長に就任して1年5ヶ月が経過し、二度目の正月を迎えました。本年は、市制施行40周年の年ですし、昨年取り纏めた「改革マニフェスト」を断行する年であると、私も決意を新たにしたところです。

ただ、文字通りの猪突猛進では、周囲に不安感を与えてしまいますので、市民の皆さんや議会のご理解もいただきつつ、的確に状況判断しながら、市長職務に当たりたいと考えています。

強みを生かして地域を再生

加西病院の問題、老朽化した学校の建替え、三洋電機跡地開発など、市政の課題は山積していますが、半面、加西には、素晴らしい地域資源と数多くの資産があります。美しい景観や整備された農業基盤、ものづくりの技術など、加西の強みを生かして、地域を再生していく所存です。順次進めて参りました民間委託、指定管理者制度、バイオマス事業などは、地元企業や農業者の皆

さんにとっても、新たなビジネスチャンスや活躍の場ともなるものですので、どうぞ、市役所の動きや広報にご注目いただきますようお願い申し上げます。

将来性ある元気な市内企業は多い

昨年は、市内の元気印の企業さんにご協力をいただき、「加西市広域掲示板」を新聞広告の形で掲載することができました。私も、各社の生産現場などを見学させていただきましたが、それぞれに素晴らしい人材とものづくりの技術を保有されていることに感心しました。

各社の企業理念や効率経営への取り組みなどは、市役所改革の観点からも学ぶべき点が多々ありましたし、若者の雇用確保という点からは、将来性のある成長企業が加西には沢山あることを再確認できました。それら企業の秀でた技術や雇用情報をもっと発信できれば、地域経済の活性化に繋がると考えております。

総額718億円の借金

加西市の財政は、危機的な状況です。そこに立ち上った責任は、歴代市政とそれを承認した市議会に相応の責任がありますし、また、投票で選んだリーダーに